

事業番号	023
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	事務機器管理事業						担当部	総務部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	総務課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文書法規係		
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営		33 行政運営		5 効率的で適切な事務運営を行う				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	3	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	コピー機、印刷機等の事務機器の配備をし、市役所の業務が円滑に行われるようする。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容 資料等のコピー・印刷を行うための事務機器(コピー機9台、印刷機4台)を借上げ、庁内に配置した。 来庁者の利便を図るため、庁舎内に2台の有料コピー機を設置した。 24年度は、新庁舎の完成と東庁舎の改修があり、事務室の配置が変更となったため、コピー機が各階に配置できるよう2台増設した。 機器が正常に動くよう、メンテナンスを行った。 機器が常時使用可能となるよう、コピー紙、印刷機のマスター及びインクを購入した。 コピー室及び印刷室の使用済インク等の返却、使用済用紙の整理等を適宜行い、執務環境の整備に努めた。</p> <p>○24年度直接経費の内訳 コピー用紙、インク等の消耗品(5,303千円) 印刷機、帳合機の保守点検委託(345千円) 庁舎移転に伴う事務機器移設委託(145千円) コピー機、印刷機の借上げ(4,283千円)</p> <p>○25年度直接経費の内訳 コピー用紙、インク等の消耗品(7,500千円) 事務機器の修繕料(50千円) 裁断機の刃の研磨手数料(31千円) コピー機、印刷機、帳合機の保守点検委託(1,117千円) コピー機、印刷機の借上げ(5,383千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	13,644	11,318	10,076	14,081	
	費用	正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,599	1,599	1,599	1,599
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	15,243	12,917	11,675	15,680	
対前年比		%		84.7	90.3	134.3		
財源	一般財源	千円	14,928	12,643	11,406	15,381		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	315	274	269	299		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	コピー機借上げ台数	台	目標	11	11	11
実績				11	11	13	
業	印刷機借上げ台数	台	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標	11	11	11	13
業	コピー機借上げ台数	台	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	

事業の自己評価	平成24年度の事業の達成状況	24年度は、新庁舎及び東庁舎の完成によりフロア数が増え、それにより各階に配置された課が業務を効率的に行えるようコピー機2台を増設した。増設した機種は他のものと性能は異なるが、業務に影響は無く、業務の停滞をまねくことなく、業務を効率的に行うことができた。	
	事業実施における課題	コピー機はスキャナ機能を有しているが、職員の多くが知らない、又は使いこなしておらず、コピー枚数が一向に減らない。コピーが多いため、故障が多くなる。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	現在の事務機器の配備は、業務上、過不足ない状況と判断する。配備機器の減少は、事務の停滞につながる懸念される。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
	判定理由	上記のとおり、現状は、事務機器を適正に配置できており、過不足ない状況であるため、現状維持と判定した。	
	26年度以降の改善案	25年度にカラー印刷機を導入するため、市役所全体の印刷物の外注が減るよう、財政課と連携を図る。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。